



Audio Engineering Society

AES日本支部便り 2017年冬号

発行 AES日本支部 〒164-0013 東京都中野区弥生町2-19-9 Tel: 03-5358-7320 Fax: 03-5358-7328

- ① 支部長ご挨拶
- ② 2017年度 支部役員体制
- ③ 2017年度 事業計画
- ④ 基礎音響セミナー報告
- ⑤ AESフォーラム報告
- ⑥ 学生支部レポート

支部長ご挨拶

AES日本支部 支部長 西村明 (東京情報大学)

昨年8月の支部長選挙にてご支援いただき、2年の任期で就任してはや1年と少しを過ぎました。本稿ではこの1年間の支部活動を振り返りつつ、今後1年間の活動計画を皆様にお伝えすることで、ごあいさつに代えさせていただきます。なお、日本支部の事業年度は7月1日から6月30日まで、理事の任期年度は9月1日から8月31日となっております。

日本支部の伝統でもある例会については、昨年度関西地区での1回を含む9回の開催を数え、会員の情報交換と学びの場を提供できたことを嬉しく思います。今年度は既に9月から12月まで4回開催し、10回程度を目標に計画を練っております。反省点としては、開催日程とその通知にあまり時間がなかったこともありましたので、今後は開催1カ月前を目途になるだけ早く日程をメール広報によってお知らせし、皆様のご参加の都合をつけやすくしたいと思います。

昨年度からの大きな制度改革である、年会費の直接本部Webサイト経由での納入ですが、昨年12月頃まで本部Web決済サイトの不具合が続き、一部会員の皆様には大変ご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。今年に入って不具合のケースは少なくなったようですが、いまだ納入時にクレジットカードが受け付けられない、とのご連絡を頂くこともあります。



本部には、毎年2回の活動報告およびその都度不具合の現状を伝えているのですが、不具合が生じる条件に再現性が無いため、なかなか本質的な改善にはなっていないようです。ブラウザの種類を変える、キャッシュメモリをクリアする、などで対応できる場合もあるようですので、お手数で恐縮ですが、お試しいただけますと幸いです。また、ご所属機関のご都合で、日本円の支払いおよび領収書等のみしか認められない場合は、別途ご連絡をお願いいたします。

事業（イベント）としては、毎年8～9月に実施している基礎音響セミナーをさらに充実させていく所存です。受講いただいた皆様のアンケートを拝読して、次に繋げておりますが、参加されていない皆様からも、こういった内容が望ましい、などのご要望をお寄せいただけますと幸いです。

昨年度は、新規イベントを開催する代わりに、この11月に開催した「若手・学生のためのAESジャパンフォーラム2017」の検討と準備に充てさせていただきました。このイベントの盛況ぶりについては、本支部だより内の別報をご参照ください。近年とくに活性化がみられる本部国際コンベンションでの学生・若手の活動を、同様に国内でも盛り上げていくことは、AES日本支部活動の活性化、業界への人材供給、そして業界の活性化にも繋がっていく重要な課題だと認識しております。またこのイベントは、継続して開催できるような規模と内容を目標に運営してまいりましたので、来年度も是非開催したいと考えております。ご協賛をいただいた企業各位、開催場所をご提供いただいた日本大学と、現地担当で最もご多忙な準備をいただいた星和磨理事、運営にご協力いただいた理事各位、そして学生支部の皆様に厚く御礼を申し上げます。

昨年の支部だよりで報告させていただいた日本支部の法人化については、行政書士の助けを借りて、どの法人形態が適切かを検討している段階に留まっております。本部との関係や、日本支部に属するAES会員との関係をどう規定するかが、この検討に関わってくるようです。

本年度日本支部がサポートするイベントとして、2018年8月に東京・北千住にて開催される、空間再生に関する国際コンファレンス「2018 AES INTERNATIONAL CONFERENCE ON SPATIAL REPRODUCTION — AESTHETICS AND SCIENCE」が迫ってまいります。科学と美学が混然となる研究と制作の現場での国際交流の場を、海外からの参加者だけでなく国内の皆様が十分に活用できるよう、日本支部として関わってまいります。

最後に、今後の抱負としまして「変わらないために変わる」を掲げさせていただきます。AES日本支部としての、国内オーディオ界において先導的人材とアイデアを共にもたらすことでオーディオの科学と実践を促進するミッションは、変わりません。その遂行のために、柔軟な発想と思考によって施策を改革し、現状に対応する努力を続けていく所存であります。今後とも、日本支部の活動にご理解とご支援をいただけますと幸いに存じます。

2017年度 支部役員体制

	2017年度（2017年9月～2018年8月）	
	2年	1年
支部長		西村 明
副支部長	中村 寛	
監事	—	由雄 淳一
運営担当理事	高橋 宏幸 喜多 真一	岡田 詞朗 渡邊 祐子
例会担当理事	丸井 淳史 小野 一穂 長江 和哉	内村 和嗣 山崎 淳
会員担当理事	中川原 修	菅野 重信
会計担当理事	小谷野 進司	中原 雅考
広報担当理事	星 和磨 飯嶋 慶太郎	中澤 哲矢 三村 将之
教育担当理事	河原 一彦 染谷 和孝	尾本 章
事務局長		見上 陽一郎
事務局		鈴木 弘明

2017年度 事業計画

1. 会議

- ・ 定期総会，役員会等
- ・ 2018年8月の国際コンファレンス開催に向けたローカル会議

2. 事業

- ・ AES基礎音響セミナーの開催
- ・ 2017年11月 AESフォーラム（学生向け国内イベント）開催

3. 支部体制の充実と効率化

- ・ 支部会員向けのサービスの拡充（ホームページ充実など）
- ・ 入会・年会費支払を、直接本部申込み・納入へ誘導
- ・ 法人化を待って事務局を音響芸術専門学校へ移転、遠隔事務処理体制の確立

4. 会員情報の管理と会員への連絡

- ・ 本部データベースを会員自身で更新
- ・ 本部データベースを元にした、同一内容送信MLの運用開始

5. 例会

- ・ 見学会・講演会を主体として、計10回程度開催予定
- ・ 音響学会とのコラボレーション企画（2018年3月）
- ・ 地方開催の推進（名古屋，大阪ほか）

6. 法人化

- ・ 法人化検討委員会を組織して、設立・移行の準備

7. 懇親会

- ・ 2回（2017年12月，2018年8月）

以上

基礎音響セミナー2017のご報告

教育担当 尾本章（九州大学）

今回で8回目となります「基礎音響セミナー2017」を9月8日、9日の2日間にわたり東京芸術大学千住キャンパス（東京都足立区）にて開催いたしました。今年も多くのご参加お申し込みをいただき、合計64名（うち学生21名）の方々に受講していただきました。またその中で7名の方に新規入会していただきました。音響芸術専門学校様からの団体申し込みもいただき、今年も多くのご参加いただきました。また賛助会費をお申し込みいただいた企業様からも多くの方にご参加をいただきました。御礼申し上げます。

講座に関しましては、基礎物理音響学からオーディオ技術の先端に至る総合的なセミナーとして2日間で合計12種類の講座を設定いたしました。毎年テーマを設定して開催しておりますマスタークラスに関しましては、AES2018へのプロローグとして、「3D音場の録音と再現 ～波面合成以外の手法～」と題して、尾本章氏（九州大学）、亀川徹氏（東京芸術大学）、中原雅考氏（ソナ／オンフューチャー）が担当いたしました。今年は、物理的に波面を再合成する考えから少し離れて、マイク配置のアレンジとそれぞれの収録音のスピーカへのアサインによって音源の定位を再現する方法、複数の超指向性マイクや音響インテンシティ測定から得られた反射音の方向情報をもとに、方向別のリバーブを構成する方法などがデモンストレーションとともに紹介されました。

セミナー修了後の懇親会に関しましては、48名の受講者の皆様と講師及びスタッフが参加して、大変有意義な交流の場として賑わっておりました。2日間にわたり、幅広く第一線で活躍している講師からの濃密な講義を受講できるセミナーは非常に貴重な機会であると思われます。ご多忙の中講義を引き受けていただいている講師の皆様、受講生の皆様、また平素よりAES日本支部の活動にご理解を頂いております会員並びに賛助会員の皆様のご協力の賜物だと感謝いたしております。あらためて御礼を申し上げますとともに、引き続いてのサポートをお願いするものであります。

2018年には AES International Conference Spatial Reproduction -Aesthetics and Science- が開催されます。このセミナーで得られた知識やノウハウが、研究や実務の成果としてカンファレンスなどで次々と発信されていくような役割を担っていければと考えております。今後の予定に関しましても、決定次第ホームページなどでご案内させていただきます。何卒よろしくお願い致します。

<AES基礎音響セミナー2017開催概要>

日 時：2017年9月8日（金），9日（土） 9:00 ～ 18:00

場 所：東京藝術大学千住キャンパス（東京都足立区千住1-25-1）

資料代：【学生】会 員： 7,500円

【学生】非会員：10,000円

【一般】会 員：15,500円

【一般】非会員：30,000円

【オプション賛助会員】無料（1口につき1名）

【団体割引】10名以上の団体申し込みで10%割引

懇親会参加費：【学生】 2,500円 【一般】 5,000円

<セミナー概要>

【初級講座】

- | | |
|-----------------|--------------------|
| A1. 音の基礎 | 星和磨（日本大学） |
| A2. 聴覚と音知覚の基礎 | 西村明（東京情報大学） |
| A3. デジタル信号処理の基礎 | 渡邊祐子（東京電機大学） |
| A4. 電気音響の基礎 | 田村良隆（スタジオイクイPMENT） |

【中級講座】

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| B1. 室内音響入門 | 中原雅考（ソナ／オンフューチャー） |
| B2. 音の心理評価入門 | 丸井淳史（東京藝術大学） |
| B3. 実用デジタルオーディオプロセッシング | 鈴木久晴（エヴィクサー） |
| B4. スピーカ入門 | 小谷野進司（KOYANO Sound Lab.） |
| B5. マイクロホン入門 | 小野一穂（NHK放送技術研究所） |
| B6. ステレオ録音入門 | 亀川徹（東京藝術大学） |

【特別講座】

- | | |
|------------|--------------|
| C. 技術英語入門 | 鈴木弘明（MQA／ソナ） |
| M. マスタークラス | |

AES国際カンファレンス2018へのプロローグ：

3D音場の録音と再現 ～波面合成以外の手法～

亀川徹（東京藝術大学），尾本章（九州大学），中原雅考（オンフューチャー）



A1. 音の基礎

星和磨（日本大学）



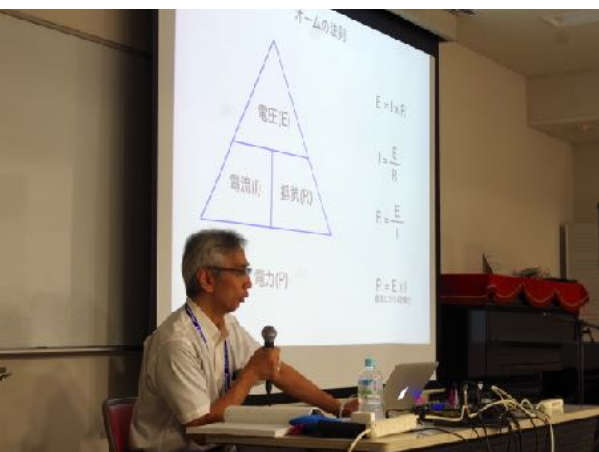
A2. 聴覚と音知覚の基礎

西村明（東京情報大学）



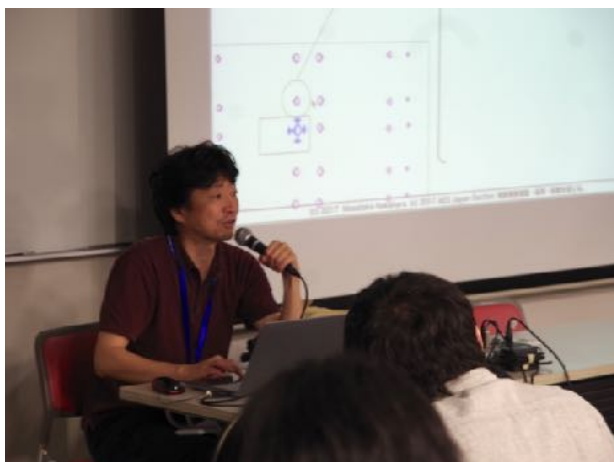
A3. デジタル信号処理の基礎

渡邊祐子（東京電機大学）



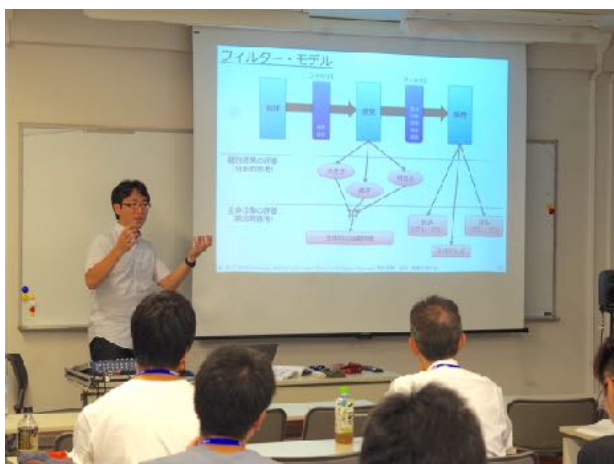
A4. 電気音響の基礎

田村良隆（スタジオイクイップメント）



B1. 室内音響入門

中原雅考（ソナ/オンフューチャー）



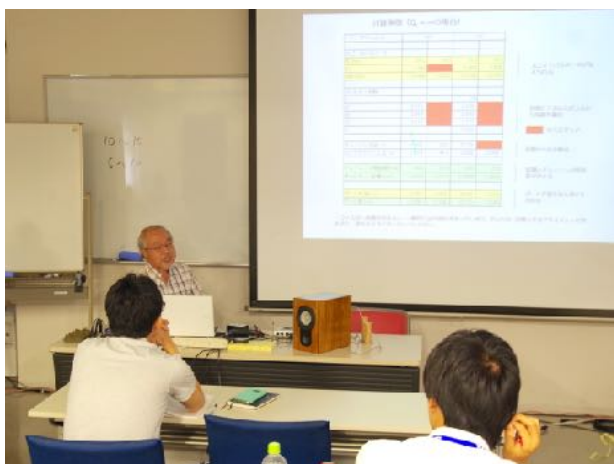
B2. 音の心理評価入門

丸井淳史（東京芸術大学）



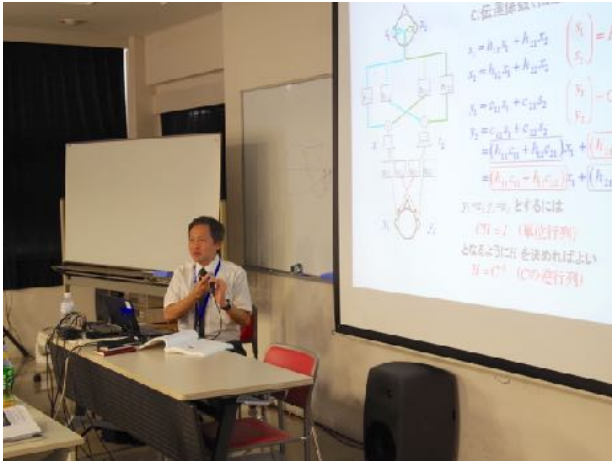
B3. 実用デジタルオーディオプロセッシング

鈴木久晴（エヴィクサー）



B4. スピーカー入門

小谷野進司（KOYANO Sound Lab.）



B5. マイクロホン入門

小野一穂（NHK放送技術研究所）



B6. ステレオ録音入門

亀川徹（東京芸術大学）



C. 技術英語入門

鈴木弘明（ソナ）

M. 3D音場の録音と再現 ～波面合成以外の手法～



事前の録音の様子



各種録音手法の説明



プレゼンター：亀川徹（東京芸術大学）



プレゼンター：尾本章（九州大学）



プレゼンター：中原雅考（ソナ/オンフューチャー）



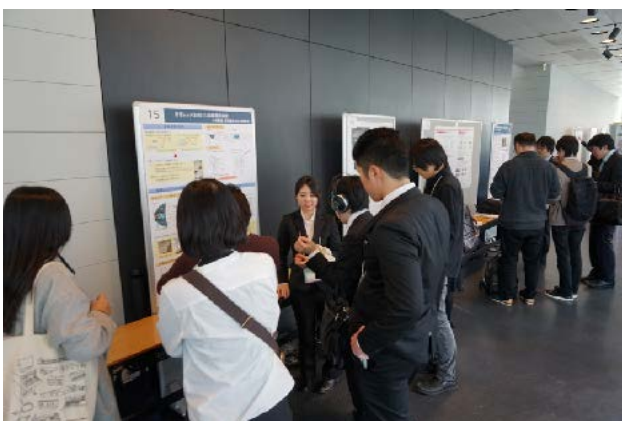
奏者：佐原敦子

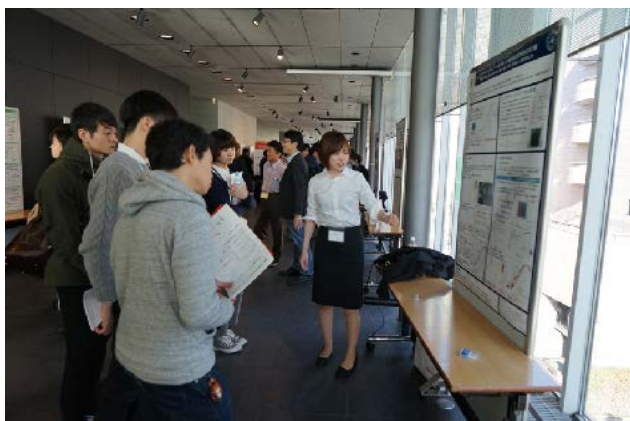
若手・学生のためのAESジャパンフォーラム2017 レポート

ジャパンフォーラム事務局長 星和磨（日本大学）

AES日本支部は、AES日本学生支部と共同で、音に興味を持つ若手・学生が音響業界へ飛び込むためのきっかけとなることを目的とした新しいイベントを企画、2017年11月25日に日本大学理工学部駿河台校舎で実施しました。このイベントは、学生の普段の制作・研究など音に関する活動をアピールするポスターセッション、音響業界の今を知る会社（業界）説明会、そして親睦を深める懇親会の3部構成からなる、1日のイベントです。当日は学生64名、社会人28名、合計92名と、初回ながら大変多くの参加者が集い大変盛況でした。

河原一彦先生（九大芸工）の元気な挨拶から和やかな感じでスタート、まず初めに実施したポスターセッションの発表は36件、奇数番号と偶数番号に分けて行いました。発表形式はポスターですがそれだけでなく、日頃作っている音や、集音器、自作の楽器などを持ち込みアピールする人もいて皆の注目を浴びていました。また、どの発表も社会人の人にアピールするだけでなく、他の学校の人とはどんなことを考えて普段勉強しているのか、学生が学生の発表を熱心に聞く姿が大変印象的でした。





次に実施した会社（業界）説明会は、（株）ソナ、任天堂（株）、（株）メディア・インテグレーション（ROCK ON PRO）、（株）カプコン、（株）サンフォニックス、タックシステム（株）、エヴィクサー（株）（敬称略・発表順）の7社に実施いただきました。1社15分というとても短い時間でしたが、音に携わる仕事の面白さ、大変さ、そしてやりがいがあると感じられる大変刺激的なプレゼンテーションばかりでした。学生はきっと、音に関わる仕事は自分が想像していたものよりもずっと広いということ、そして自分の目標がより明確になったことでしょう。



そして最後に会場を中央大学駿河台記念館内のレストランに移し懇親会を実施しました。中盤ではAES日本学生支部の支部長・蓮尾美沙希さんが、学生支部の活動内容に関する報告をしてくださいました。学生支部が企画運営して年に数回行なっている勉強会の内容や、各国の学生が集まる、AESコンベンションはとても刺激的で、視野が広がることがみなさんに伝わったのではないのでしょうか。そして会は、これを機に学校間を越えた交流（これぞ懇親）が始まったなと感じさせるとても熱気溢れた良い雰囲気でした。2時間あっという間でした。そして時間が足りなかったのか、懇親会後も仲間と街に繰り出す姿も見られました。



早くも“来年も実施しますか”との問い合わせを複数頂いております。よりブラッシュアップして来年もできるよう、日本支部、日本学生支部が連携して企画運営したいと考えております。末永く実施するためには皆様のお力添えが不可欠です。今後ともご支援くださいますよう、よろしくお願いいたします。

AES日本学生支部レポート

AES日本学生支部 支部長 蓮尾 美沙希 (東京芸術大学)

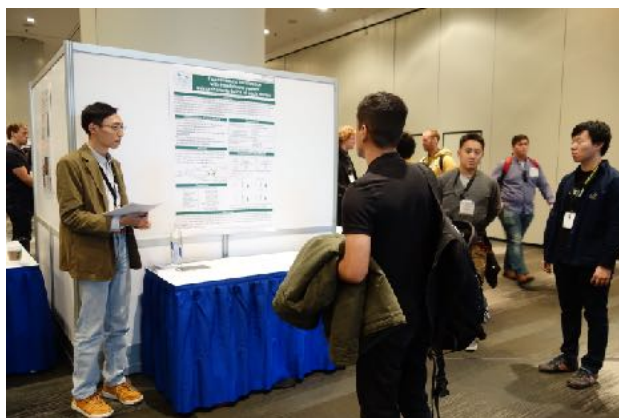
今年度開催されたコンベンション（5月のベルリン10月のニューヨーク）に学生支部メンバーも参加し、様々な学生イベントに参加しました。

両コンベンションで行われたポスターやペーパー発表では、会津大学、東京芸術大学、広島市立大学などの学生が自身の研究を紹介し、各国の研究者やエンジニアから質問・コメントをいただきながら交流しました。

ベルリンコンベンションで行われた学生レコーディングコンペティションでは、日本学生支部からの参加者はいませんでした。東京芸術大学大学院を修了し現在デトモルト音楽大学に通う金井哲郎さんがカテゴリ1（Traditional Acoustic部門）でファイナリストに残り、見事金賞を受賞しました。



ニューヨークコンベンションに参加した学生達



コンベンションでのポスター発表の様子

ニューヨークコンベンションの学生レコーディングコンペティションでは、残念ながら日本学生支部からファイナリストは選ばれませんでした。しかし名古屋芸術大学を卒業し現在マギル大学に通う永田悠さんが同じくカテゴリ1でファイナリストに残り、こちらも見事金賞を受賞しました。学生デザインコンペティションでは、九州大学の西川萌恵さんがファイナリストに残りました。惜しくも受賞には至りませんでした。審査員をはじめ多くの方に自身が制作したプロダクトをアピールしました。またエデュケーション&キャリアフェアには九州大学と東京芸術大学が学校紹介ブースを出展し、日本への留学を考え

ている海外の学生達に各校の魅力をアピールしました。これらの詳細についてはAES日本支部例会で発表したり、学生支部ホームページにて掲載・報告しました。

また、11月の「若手・学生のためのAESジャパンフォーラム2017」を日本支部と共催しました。学生支部として、告知ポスター・チラシのデザインや、WEB・SNSなどを通したイベント広報活動など運営活動もお手伝いしました。当日は発表者・参加者として多数のメンバーが参加し、イベント全体が盛り上がるように努めました。学生同士のつながりが生まれるよう、学生支部メンバーが中心となってまだAES会員でない学生とも積極的に交流を行いました！



ジャパンフォーラムでのポスター発表の様子